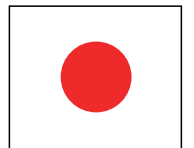


神・自然・人間は本来一体である “新しい文明”の基礎づくりを進めよう！



祝日は国旗を掲げましょう。

皇紀2680年
一 弥 生 一
3月号

発行所
生長の家両丹道場
舞鶴市字北吸 497 番地
TEL (0773) 62-1443
FAX (0773) 63-7861
白鳩会 (0773) 63-5080
発行人 伊藤 夏樹
編集人 船木 悟

◎ “自然と共に伸びる運動”の実現のため、
“神においてすべて一体”の宗教心を多くの人に広げよう！
◎ 第一線の「誌友会・母親教室」を活発に開催して、壮年層会
員の拡大と普及誌購読者・聖使命会員拡大の一年にしよう！



神の子の自覚を深めて前進する祈り（抜粋）

生長の家総裁 谷口 雅宣

神さま、私は神の子として、神さまのもち給えるすべての御徳を常に心に把持することを怠りません。私は毎日、神想観して、神さまの世界に植え付けられた実在の「種」を心の表面に喚び起こします。そして、愛行と和顔・愛語・讃嘆のコトバの力を駆使して、自己に宿る神さまの御徳を表現する活動に邁進します。「われ神の子なり」と常に観じ、思い起こし、「神の子」の理想を日常生活の基準として高く掲げ、その「種」を地上世界で育て花開かせる生活を送ります。それは生き甲斐のある喜びの生活です。私はその喜びを他の人々にも伝え、協力し、分かち合い、かつ独断、独善に陥らず、根気強く、時機に敏く、明るく、勇気をもって、神さまの御徳を表現する道を前進していきます。

「われ神の子なり」の自覚を深めてくださったことを、神様に感謝いたします。ありがとうございます。

『日々の祈り 神・自然・人間の大調和を祈る』
一一八〜一一九頁

三月一日の記念日に際して

京都第二教区教化部長 伊藤 夏樹

来る三月一日、生長の家総本山におきまして、生長の家総裁・谷口雅宣先生、生長の家白鳩会総裁・谷口純子先生のご臨席のもと、「立教九十一年生長の家春季記念日・生長の家総裁法燈継承記念式典」が執り行われます。総裁先生のお言葉や本部褒賞授与など、式典の模様は午前一〇時より、インターネットで一般公開（詳しくは生長の家公式ホームページ参照）されますので是非ご覧ください。

ところで先日、参列したある葬儀で僧侶の法話を聴く機会がありました。その時のおよその内容は「この世は無常であり変化する」、「生あるものはいつかは必ず死を迎える」、「それが人生である」というもので、だからこそ「今を大切に生きよ」とのお話と私は受け取らせていただきました。

機関誌『生長の家』本年一月号の谷口雅春先生の「法語」の頁にもこの同じ変化無常について示されています。実は、私はこれを読んで驚きと共にとても嬉しくなりました。そこには「祝福すべきかな変化無常」とあった

のです。なんて素晴らしいのでしょうか。変化無常と諦めて受け入れるのではないのですね。それは祝福すべきであると。

もし変化無常の世界でなかったならば、吾々は日本の景色に春夏秋冬の異なる美を楽しむことができなかつたであろうし、幼児から少年少女への生長の喜び、そして青年期の元氣澆刺とした活動と伸展の喜び、そして家庭をつくって家族相和す喜び、老いて孫をいだく飲びなど色々異なる喜びなどの境涯を体験することができなかつたに相違ないのである。『新版 生活の智慧365章』
一六九〜一七〇頁

「そうだ、その通りだな」と、現象無常のなかにさえ喜びを見いだし、力を与えてくれる生長の家の教えの素晴らしさをあらためて思いました。これはほんの一例ですが、このようなき人生を創造し、神・自然・人間の大調和を顕現させる最高の教えが、立教以来、谷口雅春先生から谷口清超先生へ、そして清超先生から現総裁谷口雅宣先生へ法燈が継承されて、変わることなくそれぞれの時代にご指導いただけることは、本当にありがたいことです。谷口清超先生は、こうしたよき師

につくことの大切さを説かれて、さらに次のようにご指導くださっています。

みなさんは幸いにして良き師を選び、良き指導者のもとで、日々信仰生活をつづけていられるものと思う。しかし、家庭の中において、あるいは地域社会での日常生活の中に行われる信仰活動は、とかく「孤独」となり、「自己流」のものとなりやすい。そこで私達は年に二回は練成道場においてみっちり研鑽をし、そこで正しい信仰のあり方と態度とをわがものとしなければならぬ。(中略) 練成会又は講習会において多くの人々の語る体験談や、あるいは個人的接触や講師のお話の中には、その「場」でなければ得られない魂の重要な示唆が含まれているのである。『いのちを引きだす練成会』(八二〜八三頁)

総裁先生の説かれる素晴らしい教えについては書籍でも読み学ぶことができますが、やはり、講習会に参加して体験談なども聴くなかで、直接にその時にご指導をいただくことが、たいへん重要だということ。これは講習会受講の意義でもあります。

三月一日の記念日に際して、私たちは立教から九十年を超えても、法燈継承により変わることなく素晴らしい教えをいただける幸せにあらためて感謝したいと思います。そしてその思いで、五月三十一日の「生長の家講習会」の大盛会・大成功に向けて、上記の総裁先生の祈りにあるとおり、「愛行と和顔・愛語・讃嘆のコトバの力を駆使して」参加を呼びかけて参りたいと思います。

第12回 生長の家相愛会・栄える会合同全国幹部研鑽会 統一テーマ：“新しい文明”を築こう

サブテーマ：低炭素の事業と生活を生きる

ご指導
生長の家総裁 谷口 雅宣先生
生長の家白鳩会総裁 谷口 純子先生

日時：令和2年5月2日(土)
時間：10時～15時30分
メイン会場：生長の家本部練成道場(飛田給)
サブ会場：生長の家大阪教化部他
参加費用：5,000円(本部奉納金4,000円、お弁当、バス代含む)
参加対象：副相愛会長以上の幹部、壮年層の会員、男性の地方講師

～あなたの愛で“自然”をまもろう！～

『青年会便り』 「絵手紙の実践」

青年会事務局長 渡利 あすか
二月の中高生徒友会で絵手紙を実践しました。題材となった野菜や果物をじっくりと観察し、失敗を気にせず真心を込めて描くようアドバイスを頂き、みな思い思いの絵を描きました。ひとつの物をじっくり丁寧に見続けるといことは、日常生活においては稀です。たいていの場合は何となくでしか対象物を見ないので、色も形もなんとなく記憶に残っている程度。こうした機会に立ち止まって見てみると、いつもよく見ているはずの野菜や果物がこんな綺麗な色や形をしていたのかと改めて気づかされます。神様が生み出し給うたこの世の美に感謝し、楽しく絵手紙を実践出来たことを嬉しく思います。



～ 地方講師会だより ～

3月度地方講師・光実一日研修会のご案内

- ・日時：令和2年3月22日(日)9時55分～15時
- ・テキスト：『ムスビの概念の普遍性を学ぶ』、『憲法を知ろう』誌友会のためのブックレットシリーズ3・4・5・6、『光明法語』、機関誌『生長の家』3月号、普及誌3誌No121、『凡庸の唄』、聖歌集

～人類すべてが兄弟姉妹である～

1月度地方講師・光実一日研修会の報告

- 「誌友会のためのブックレットシリーズ3・4・5・6」伊藤夏樹教化部長
- 機関誌『生長の家』1月号、普及誌3誌 伊藤夏樹教化部長
- 母親教室出講講師発表 渡部 悦子講師
- 誌友会出講講師発表『46億年のいのち』P176～P194 大西 康子講師
- 2020年度京都第二教区地方講師会活動計画 馬場和枝地方講師会長

合掌ありがとうございます。
地方講師・光明実践委員の皆様には、五月三十一日の生長の家講習会の推進に日夜ご活躍頂いておりますことを心より感謝申し上げます。
一年度の研修会にて、機関誌『生長の家』十二月号掲載の二〇二〇年度の運動方針に基づき、京都第二教区の地方講師会活動計画を発表させて頂きました。
『新しい文明』構築のためのライフスタイルの実践と社会への貢献をするため、私たち講師が率先して倫理的な生活を実践するとともに、誌友会等の場での意義を参加者にお伝え頂きたいと存じます。
※毎月、伊藤夏樹教化部長ご指導の真心一杯かつ楽しい一日研修会が開催されております。どうぞ大勢の方が参加してくださいませようお願い申し上げます。

～生命学園便り～

両丹生命学園園長 大槻紀子

令和二年一年度の両丹生命学園は、十九日（日）に九名の神の子さん達を迎えて開園させて頂きました。一年の始めに相応しい「大いなる夢を描こう」をテーマに若井康江講師が、神の子さん達に分かり易く、シユバイツァー博士の伝記なども繙いて「一人一人の心に描いた夢は努力することによって必ず実現しますからね」と素晴らしい講話をして下さいました。講話の後で皆に用紙を配り将来の夢を書いて発表してもらったところ、今回は全員が小学生の神の子さん達で、具体的にしっかりと将来の夢を語ることが出来て頼もしい限りでした。月に一度でも「生命学園」で学んで頂くことにより、各自の生命の中に無限の力が在ることを知り、また引き出す方法も体得して、希望に満ちた明るい未来へ向かって羽撃いて欲しいと願っています。

続いて全員が大好きな「神の子すごろく」、「なかよしカルタ」「神の子カルタ」で盛り上がり、楽しい時間となりました。伊藤真己子講師指導による「神想観」の時間も充実して実修することが出来て、大変嬉しく思いました。

昼食は、大江青美講師、糸井芙佐子講師、東純子職員が真心込めてホットケーキ、クリームシチュー、デザート、おにぎりなど、子供たちの大好物を作って頂きました。

今回は、網野から新しい神の子さんが参加して下さい、殊の外、喜びの多い開園日となりましたことを感謝申し上げます。

感謝合掌



第229回神性開発両丹短期練成会開催

去る二月十四日（金）～十六日（日）、教化部長・伊藤夏樹本部講師のご指導のもと、第二二九回両丹短期練成会が開催され、五十三名が参集し、「人間・神の子」の真理を学びました。初日は講話（一）～（四）と神想観の実修等、二日目は講話（五）～（八）、体験談発表、先祖供養祭、浄心行等、三日目は、講話（九）と（十）、祈り合いの神想観等が行われました。伊藤真己子講師による体験談発表では、母親からみ教えを伝えられ、物心つく頃には『聖經甘露の法雨』の神の子の項を誦んずるようになったエピソードのほか、全国大会参加、養心女子学園入学、本部奉職、伊藤夏樹教化部長との結婚のお話に続き、近況では、SNI自転車クラブの活動の中で、自然と触れることにより、神・自然・人間は一体であるということを実感していることを発表、「今後神様の御心に叶うよう自分を使ってくださいと祈っています」と結び、参加者から盛大な拍手を浴びました。

「暖かい天候にも恵まれたため、雪の心配もなく遠方から参加できてよかった」「伊藤真己子講師の体験談が新鮮でとてもよかった」との喜びの声が寄せられ、来る五月三十一日開催の講習会大盛会を誓い合う中、盛会裏に終了いたしました。

運営委員の皆様、ご参加くださった皆様に心より感謝致します

伊藤真己子講師



教化部長・伊藤夏樹本部講師



講習会感謝訪問

来る五月三十一日（日）開催の講習会へ向けて、伊藤夏樹教化部長をはじめとする五者で教区内の各家庭を中心に祝福訪問をさせて頂いております。日程は二月五日（水）の丹波地区を皮切りに、七日（金）綾部地区、八日（土）福知山地区、十七日（月）西舞鶴地区、二十六日（水）橋立地区を訪問させて頂いた。この地区の信徒さんにも温かく迎えて頂きました。三月には、四日（水）網野峰山地区、六日（金）久美浜大宮地区、十日（火）東舞鶴地区、十一日（水）与謝地区を訪問する予定です。訪問した際にはどうぞよろしくお願い申し上げます。

また三月から両丹道場におきまして、講習会祝福祈願が始まります。今月の『よるこび』三月号八頁に担当地区が掲載されており、積極的にご参加くださいますようお願い申し上げます。



建国記念の日祝賀式開催

令和二年二月十一日（日）、午前十時より両丹道場において、建国記念の日祝賀式を開催しました。同祝賀式では、伊勢皇大神宮・橿原神宮遙拝、「日本書紀」奉読、「紀元節奉祝歌」斉唱などが粛々と行われる中、伊藤夏樹教化部長が挨拶の中で、新年の一般参賀における陛下の次のようなお言葉を紹介しました。

新しい年を迎え、みなさんと共に祝うことをうれしく思います。その一方で、昨年の台風や大雨などにより、いまだご苦労の多い生活をされている多くの方々の身を案じています。本年が災害のない、安らかで良い年となるよう願っております。年の始めに当たり、わが国と世界の人々の幸せを祈ります。

（『東京新聞』二〇二〇年一月三日朝刊）
その上で、自転車の活用、家庭菜園などPBSの活動が、実は、自然災害を引き起こす原因となっている地球温暖化の有効な対策になっていると説明すると共に五月三十一日（日）に開催される講習会を大盛会にしようと訴え、同祝賀式は盛会裏に終了いたしました。



講習会に向けて皆様がんばりましょう!!



令和2年5月31日（日）に開催されます講習会を大盛会にするために、伊藤夏樹教化部長、塩見富子連合会長が、各総連1月度の支部長会議に出席されました。各支部長より祝福名簿を提出して頂き、伊藤教化部長のお祈りから始まりました。また、会議の終わりには、【和願愛護讃嘆で祈って歩いて声掛けて令和2年5月31日の講習会は必ず目標突破！がんばりましょう！】のスローガンを唱和し、大盛会への決意を新たにしました。



総連別支部長会のようす



ミニイベントの開催

SNI クラフト倶楽部で布製ナプキンを作成しました。



第12回
生長の家白鳩会全国幹部研鑽会
 ご指導：生長の家総裁 谷口雅宣先生
 ：生長の家白鳩会総裁 谷口純子先生
 日 時：令和2年5月1日（金）
 メイン会場：生長の家本部練成道場
 サブ会場：生長の家宇治別格本山 他





令和2年3月度
生長の家白鳩会京都第二教区
総連別役員支部長会議
日程：3月5日（木）～10日（火）

ヴィーナス（熟年者）の集いのご案内
日 時：3月24日（火）
講 話：10:00～伊藤夏樹教化部長
歌の練習：13:00～三品純子先生
テキスト：『生長の家の信仰について』

〈3月度対策部日程表〉

日	曜	時間	対策部	日	曜	時間	対策部
2/25	火	13:00	普及誌購読者拡大	7	土	10:00	聖使命会員拡大
7	金	13:00	支部・誌友会・会員	25	水	12:00	I T
4	水	13:00	壮年	25	水	13:00	熟年
18	水	11:00	環境				

2月度の対策部だより

普及誌購読者拡大

普及誌のインフォメーションに「生長の家の生活法とは？」としてこの月刊誌を初めて読まれる方のために、生長の家の教えについて紹介されています。「『日時計主義で生きる』人生のよろこびや、美しいこと、ありがたいこと、感動したことなどの明るい面だけを記憶し、語り、思い出す生き方の事です。」と、記載されています。このようにしっかりと文章によって伝道されています。

令和2年5月31日（日）に開催されます生長の家講習会に向けて普及誌は必需品です。「普及誌」を愛行して頂き、たくさんの方々に講習会にお誘いしましょう。

聖使命会員拡大

今回聖使命会員を拡大するにあたり改めて入会の意義を確認してみました。納入した会費は、信仰運動を展開する尊い献資となり地球全体を幸福へと導く尊い菩薩行である。献資という行為は、見返りを期待しない与える愛の実践である。聖使命会員になる時に名前を書かれた聖魂録は、九州総本山に奉安され、日々聖經読誦により祝福されていると説明されていました。

（対策部作成：幸せの扉を開く聖使命会員より）

支部・誌友会・会員

毎月、よろこびの誌友会を開催して頂きありがとうございます。暖かくなってきました。新しいお友達を誘って楽しい・うれしい・素晴らしい誌友会を開いて頂き5月の講習会に繋げましょう。

《うちんとこの誌友会》

綾部夕陽ヶ丘支部です。平成8年頃から始めた我が家での誌友会は、10人位の方に声掛けし参加して下さるのは5～6人位です。その中には男性がおられ、講師の話の中に疑問があるとすかさず納得がいくまで質問されます。そのことで誌友さんも意見を言われたりと、とても盛り上がり笑いが絶えない素晴らしい勉強の場になっています。今後は、新人さんをもっともっと強力にお誘いし、益々楽しい誌友会にして行きます。

環境・対社会

〈いのちの循環〉 雑紙って何？

雑紙とは、新聞・雑誌・段ボール・紙パック以外のリサイクル出来る紙の事だそうです。普段何気なく可燃ごみに捨ててしまっている菓子箱・包装紙・メモ用紙・封筒・トイレトペーパーの芯等は、資源化する事が出来るそうです。分別を行いごみの減量を進めましょう。（京丹後市より）

私達1人1人が気をつける事により燃えるごみに出して燃やしてしまうと循環が途切れますが、リサイクルすることにより資源として生かす事が出来ます。皆さん始めませんか？

本部褒賞決まる

春の本部褒賞がこのほど決まりました。京都第二教区からは西日本光輪賞に東舞鶴地区の河合智暉氏に、布教功労賞は同地区の渡部悦子並びに福知山地区の西村千都子氏に決定いたしました。また教区役職者に対する感謝状が、3期にわたり白鳩会教区連合会長を務められた渡部悦子氏に贈られます。信徒一同心よりお祝い申し上げます。

3月1日(日)、生長の家総本山にて執り行われる「生長の家春季記念日・生長の家総裁法燈継承記念式典」において表彰式が行われます。

その模様は、インターネットでライブ配信(一般公開)されます。詳細は下記の通り。

公開日時:3月1日(日)10:00~

http://www.jp.seicho-no-ie.org/lp/20200301_jp/

第72回生長の家青年会全国大会

“統一テーマ:“新しい文明”を築こう

サブテーマ:一人ひとりが主人公となる

ご指導

生長の家総裁 谷口 雅宣先生
生長の家白鳩会総裁 谷口 純子先生

日時:令和2年5月3日(日・祝日)
時間:10時~15時30分

メイン会場:生長の家本部練成道場(飛田給)

サブ会場:生長の家大阪教化部他

参加費用:4,000円以上

参加対象:青年会員及び12歳~39歳の未会員



~あなたの愛で“自然”をまもろう!~

平成三十一年度ISO14001による環境保全の取組

両丹道場事務局長 船木 悟

このほど平成三十一年度両丹道場ISO内部監査が終了しましたので、同年度の取り組みの成果をお伝えしたいと思います。

昨年四月四日から、両丹道場で使用する電力については、クリーンエネルギーを供給する電力会社・ネクストエナジーに変更することによって、両丹道場のCO2排出量は、それ以降、「〇」になりました。電力の使用は急速充電と新道場の分のみのCO2排出量となった結果、前年度のエネルギー八項目(ガソリン・灯油等を含む)のCO2総排出量一八、三〇七kgから平成三十一年度のそれは一三、三三八kgに減少し、前年対比二十七・一四%減という成果を得ることができました。

そのほか、近年の予想を超える自然災害に備え、講習会のペア教区である福井教区と災害時支援協定を結び、実際に組織的に活動できる体制をつくったほか、災害支援のための備品を購入し管理、その備品内容は「自然の恵みフェスタ2019」に来場者の皆様に紹介いたしました。

本年度の取り組みはすでに始まっておりませんが、電力については、令和二年一月二十日から、急速充電及び新道場の電力もクリーン電力に変え、電力に関わるCO2排出量を「〇」にしました。

また生長の家国際本部からの電気自動車購入のための補助金四五〇万円と、次世代自動車振興センターからの補助金四〇万円を合わせ、航続距離五〇〇km前後(カタログスペック)走る電気自動車・日産リーフe+を購入しました。航続距離が十分確保できたおかげで、ガソリン車・カローラを下取りに出すことにし、これまでカローラが使用してきたガソリン分のCO2排出量を削減することができます。

このような効果が期待できるCO2排出量削減のための施策などを行うことで、両丹道場全体として環境保全に寄与していきたいと思っております。

☆献納品ありがとうございます(敬称略)

- ・大江 青美・・・米1升、鮭、昆布、鯉節
- ・糸井芙佐子・・・鮭
- ・宮前 博子・・・みかん、たくあん
- ・東 園子・・・ハウレンソウ
- ・坂本八重子・・・ダイコン
- ・西村 桂子・・・甘酒、リンゴ、ダイコン
- ・佐々木寿美・・・ダイコン、ハクサイ、サトイモ、ネギ、つけもの
- ・森 博子・・・チョコレート
- ・古和田幸子・・・お菓子、スティックコーヒー

☆献納ありがとうございます(敬称略)

- ・竹野美都子 50,000円
- ☆生物多様性保全募金ありがとうございます 13,215円
- ☆お賽銭 ありがとうございます 42,007円

春季慰霊祭の案内

日時:令和2年3月21日(土)
午前10時~

場所:生長の家両丹道場

※聖經『甘露の法雨』をお持ちください。

カラー写真多数収録

宗教学人「生長の家」(SNI)自転車部編

「新しい文明」を築くために1

自転車から平和を

「SNI」自転車部

「SNI」自転車を紹介するとともに、自転車に乗ることで自然への愛が深まり、心身の健康が増進し、世界平和の実現にも貢献出来ることを分かりやすく説く。



▼新書判・168頁

▼1000円▼日本教文社刊

令和2年3月度行事予定

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	曜
	(相) 正副・地区連会長会議(10時)	(白) 特別壮年誌友会	五者会議(10時)	(道場休館日)	講習会感謝訪問・与謝 http://www.jp.seicho-no-ie.org/jp/20200311.jp/	講習会感謝訪問・東舞鶴		(白) 特別壮年誌友会	(講) 幹部研修会(宇治) 7~8日 (生) 教区会長会議(宇治)	講習会感謝訪問・久美浜大宮	(白) 特別壮年誌友会 (道場休館日)	(講) 講師派遣委員会(10時) 講習会感謝訪問・網野峰山			聖使命感謝奉納祭 春季記念式典・法燈継承記念式典(10時) ライブ配信あり、詳細は7頁	本部・教化部行事
丹後	丹後	丹後	丹後		舞鶴	舞鶴	丹波	綾部	福知山	丹後		丹後	丹後	丹後		祝福祈願 相愛会
橋立	与謝	久美浜 大宮	網野峰山		東舞鶴	西舞鶴	丹波	綾部	福知山	橋立		与謝	久美浜 大宮	網野峰山		祝福祈願 白鳩会
与謝		橋立													総本山	教化部 長
西村・藤原美	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	早朝行事担 当

☆両丹道場では(木曜日と祝日の休館日)以外は毎朝5時10分より早朝行事を執り行っていますのでなたでも自由にご参加下さい。

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火
		和歌山・大阪教区講習会		(白) 総連会長・対策部長担当会議(10時)	(道場休館日)	(白) 正副会長会議(10時)	(白) ヴィーナスの集い(10時)	普及誌仕分日	(講) 地方講師・光実一日研修会(10時) 役員会(15時30分)	春季慰霊祭・先祖供養祭(10時)	春分の日(道場休館日)	(道場休館日)	住吉神社月次祭(10時)	
丹波	綾部	福知山	丹後	丹後		丹後	丹後	舞鶴	舞鶴	丹波			綾部	福知山
丹波	綾部	福知山	橋立	与謝		久美浜 大宮	網野峰山	東舞鶴	西舞鶴	丹波			綾部	福知山
												宇治		
大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	休み	休み	河合・船木	大西・河田